

令和3年7月 市長定例記者会見

令和3年7月1日(木)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいまより令和3年7月市長定例記者会見を始めさせていただきますと思います。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては事業発表についてからお願いしたいと思います。事業発表に係る質疑応答終了の後に、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行したいと思っております。

なお、ご質問の際は、お手数ですが、まず挙手をお願いいたします。そして、ご自席のマイクのスイッチを入れていただき、ご質問の後はお切りいただきますようお願い申し上げます。

終了は14時30分を予定しております。ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

それでは、市長、よろしくをお願いいたします。

【市長】 では、7月の定例記者会見、よろしくお願いいたします。

やっと6月議会が終わりまして、ほっとしているところなのですが、またこの7月、8月、夏になってきますし、いろんな行事ができなかった部分もありますので、市民の皆さんにはいろいろご苦勞とかご心配をかけるなど思っておりますが、今日からワクチン接種、64歳以下、16歳以上ですけれども始まりましたので、その中で、できるだけ早く接種をしていただいて、通常の日常とまではいきませんが、活動しやすい環境をつくっていききたいというふうに考えております。

またもう一つ、いいニュースといいますと、運動公園の野球場のスコアボードが早く完成しまして、これが高校野球のほうに間に合うことが分かりましたので、非常に喜んでいくところです。

いろんなことがあります、しっかりと前を向いて進んでいきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 事業発表につきましては、3項目ございます。

1つは、ゼロカーボンシティの宣言についてでございます。

敦賀市は総合計画にSDGsを取り入れ、これまで調和型水素社会形成計画を策定するなど、地域の脱炭素に向けた取り組みを進めてまいりましたが、2050年までに市内のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティへ挑戦することを本日宣言いたします。

本市は、技術が確立されました脱炭素電源である原子力発電所の立地を受け入れ、長年にわたり国のエネルギー政策に貢献してきました。また、現在、水素社会形成に取り組むとともに、太陽光発電の電気を蓄電池や水素で調整する再エネ形成VPPに取り組んでおります。また、今年度竣工します敦賀市役所新庁舎は、地中熱や水素も利用し、ZEB Readyの認証を取得しています。

以上のように、本市は様々なゼロカーボンに関する取り組みを進めてまいりました。そ

のため、本市のゼロカーボンシティ宣言は、電力事業者との連携協定も含め、より実態を伴った実効性のあるものというふうに考えています。

ここに宣言を行い、地域の脱炭素化の取り組みを引き続き進め、エネルギー供給都市である敦賀市の姿勢を内外に示し、グリーンを成長分野の一つとして、カーボンニュートラルに貢献してまいりたいと考えています。

1 項目目は以上です。

2 項目目につきましては、北陸新幹線敦賀駅のご当地発車メロディーの募集についてです。

2024年春の北陸新幹線敦賀開業に伴い、新たに北陸新幹線敦賀駅で使用する発車メロディーの楽曲を広く募集いたします。ご当地発車メロディーは、駅の出発ホームで使用されているもので、市民の皆様や敦賀市を訪れた方々に親しみを持ってもらうとともに、市のイメージアップを図ることを目的としています。また、募集した楽曲から曲を選定し、発車メロディーとしてその曲をJR西日本及び鉄道・運輸機構へ提出する予定としています。

募集期間は7月1日から9月10日金曜日までですので、どうぞよろしくお願いいたします。

それから3番目ですが、敦賀市知育・啓発施設に係るイメージパースの公表ということでございます。

北陸新幹線敦賀開業に向けまして、敦賀駅西地区で整備を進めています知育・啓発施設につきまして、その基本設計が固まりましたので発表させていただきます。

空間コンセプトは、World Tree～世界樹～であります。北陸新幹線敦賀開業を通じて、発展する敦賀の成長を大きな1本の木に見立てて表現させていただいております。

子供にとっては知育、大人にとっては啓発。これらが響き合って、この施設が市民の皆様にとって普段使いの拠点として愛され、親しまれることを強く願っております。

発表項目は以上です。

**【秘書広報課長補佐】** それでは、ただいま発表いたしました項目につきましてご質問をお受けしたいと思います。最初に幹事社さんのほうからお願いいたします。

**【記者】** ゼロカーボンシティ宣言についてお伺いしたいんですが、宣言をして内外にこういう姿勢を示すことで、どういう意味合いがあるか、何を期待するかということと、宣言をしたことによって、新たにに取り組むこととか強化していくことというのがあれば教えてください。

**【市長】** SDGs、持続可能なというところも含めながら私ども進めておりましたけれども、先ほども言いましたけれども、原子力の立地ということも含めて、VPP、水素を使ってやっていくことについては、しっかりと再生エネルギーについての取り組みにもつながっているんだなということを改めて感じています。

ゼロカーボンシティ宣言をすることによりまして、その目標値をしっかりと確認しようというふうに思っているところです。

そしてまた、VPPをやっていた場合に、企業さんとか、また電力を必要とされる一般の方とかが再エネというのに対して非常に興味を持って価値観を持っているということに対しても、しっかりとアピールができるんじゃないかというふうに考えています。

しっかりと方向性を持って取り組み、確実に実行できるというのが宣言の効果かなとい

うふうに思っています。

【記者】 新たに取り組むというよりは、今やっていることをしっかりアピールできるということがこの宣言の意味合いということでしょうか。

【市長】 そうですね。今までいろんなことをやってきた事が、このゼロカーボンシティをすることで統一感が出てきますし、また、今新たに何かということはありませんけれども、この先に見えてくるものも、そのストーリーの中でいろいろ判断していけるというふうに思います。

【記者】 あともう1点。知育・啓発施設に関してですけれども、具体的な今回パスが出てきて、市長はこのパスを見られて、率直にどのような印象を抱かれましたでしょうか。

【市長】 パスはたくさんありまして、なかから一番気に入ったものを持ってきました。市民の皆さんも使いやすいし、よそから来た人たちがこれを見て、中で憩いのひと時を過ごしていただくのに非常にいい雰囲気のところになるなと思っています。ですからこの上のところで、椅子に座ってコーヒーを飲みながら待ち合わせをしたり、下の子供さんたちが閲覧したりうろうろしているのを見守っていたり。2階の後ろのほうには子供さんたちのスペースもありますので、そうすると市内の若いお母さん方とか子育て世代の方がいる場所ができるでしょうし。あと、オルパークで勉強している高校生の子とかいますけれども、場所としては足りないと思っていますので、そういう人たちの受入場所にもなってきますので、ちょっとおしゃれなにぎわいの場所になっていけるかなと思っています。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。発表項目につきまして、ご質問がございましたら挙手をお願いいたします。

【記者】 ゼロカーボンシティ宣言について、もう少しお伺いしたいんですけれども。例えばこれを宣言して挑戦していく中で、市民の皆さんにこういうことやろうよとか、あと庁内でこういうことを減らしてやっていくよとか、そういったような具体的な取り組みみたいなものというのはどうなっていくのかなと思ひまして、その辺がありましたらお願いします。

【市長】 実際に自分たちが個々に取り組むことということなんだと思いますけれども、ゼロカーボンシティを目指すことで、皆さんの、職員もそうですけど意識が高まってきて、ごみを減らそうとか、またコピーする量を減らそうとか、ペーパーレスにしようとか、そういう個々人の動きにつながっていくというふうに思います。

あと、先ほど言わなかったんですけれども、新幹線の降りるところに水素エネルギーを使ったムービングウォークをつくったりしますので、そういうシステム的なものはやっていくんですけれども、もう少しソフト的な部分も強化して進めていけたらと思っています。

【記者】 知育施設について伺いたいんですけれども。先ほど市長、2階のベンチなんかを利用してもらいたいというお話が少し出ましたが、特に内部の設備みたいなもので、特徴的なものとかは何かあるんでしょうか。

【市長】 先ほどちょっとご説明しましたように、書棚の並びというのが木の枝が伸びていくようなイメージのものになっています。あと、壁のところもそういう形になっていますので、そこが特徴的な部分かなと思っています。1階に喫茶部があります。喫茶部の前にも椅子がありますし、書籍コーナーの中にも座ったりできる場所、テーブルと椅子が

あったりしますので、本当に本を読みながら喫茶店にいるようなイメージ、また、お子さんと一緒に来れるようなイメージというのがあったのかなと思っています。

【都市整備部長】 特徴的なところというのは市長が申し上げたところで、木に見立てて本棚のレイアウトも壁面もそれでデザインしている。そして、大樹に込められた意味も、今後、選書等、そういったデザイン、設計だけではなくに、運用や選書についても大樹の考え方の下に知育施設を展開していくというところで、形だけではなくに今後のソフト面も含めてご期待いただければなど、そう考えております。

【市長】 今思い出しました。普通、本棚の本を置くところは平たい一面なんですけど、凸凹しているそうです。ですから、本が雑然と置かれているようにわざと見せることで、手に取りやすい、また目につきやすい仕掛けというのも工夫していかれるというふうに聞いています。

【記者】 ということは、今後、設計に移って行って、着工時期はまだ未定ということではないのでしょうか。

【都市整備部長】 工事の着工については、基本設計が終わりましたので、これから実施設計というところに入っていきます。実際、この秋ぐらいから建築工事、内装、設計に基づくところに入っていきたいと考えているところです。

【記者】 完成予定もありますか。

【都市整備部長】 完成予定につきましては、全体の完成と合わせて知育・啓発施設も来年度の9月を目標に現在進めているところです。

【記者】 分かりました。ありがとうございます。

【記者】 ゼロカーボンシティの宣言についてなんですけれども、このタイミングで宣言を出したということについてどう考えていらっしゃるかとということと、あと、こういうふうに宣言をした市町というのは全国的にあるのかどうか、その辺分かっていたら教えてください。

【市長】 このタイミングで出したといいますのは、先日、北陸電力さんと包括協定を結ぶことができました。ですから、VPPをやっていく上で、関西電力さんと、そしてまた北陸電力さんと一緒にやっていると。グリーンと、それからデジタルフォーメーションという2つのテーマに取り組んでいけるなということが素地としてできましたので、このタイミングでしっかりとカーボンニュートラル、ゼロカーボンシティの宣言をして方向性を示したいというふうに思っています。

【企画政策部長】 全国でどれぐらいという話がありましたけれども、6月11日時点で407自治体が宣言をされております。県内におきましては、福井県、そして福井市、鯖江市、坂井市、大野市が宣言をされております。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次第の3番目、フリーの質疑へと移らせていただきます。幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 この間の議会でもおっしゃっていたんですけれども、改めてエネルギー基本計画についての市のお考えというのをお聞かせください。

【市長】 エネルギー基本計画につきましては、3年置きに更新をされているというふうにご承知しています。その中で、もう10年も経ちましたので、新增設、リプレースについて

の方向性をしっかり示していただきたいというふうに全原協としても求めておりますし、今回それをしていただきたいというふうに強く願っているところです。

【記者】 これも議会でもおっしゃっていましたが、グリーン成長戦略から「原発を最大限活用」という表現が消えたということもおっしゃっていました。あと、エネルギー基本計画に、原発の建て替えの明記を見送るという一部報道もありました。その辺のことをどのようにお考えでしょうか。

【市長】 原発の建て替えを見送るという報道につきましては、そういう報道がなされたことに対しては非常に不快感を覚えています。東日本大震災から3年ごとのエネ基の策定のたびに、国のエネルギー政策に協力してきた立地としまして、福島の復興とともに、より安全な原子力発電所の新增設、リプレースということを明確な方針を出すことを求めてきたんですけども、今まで国がいつまでにと話じゃないんですね。もうちょっと、もうちょっとというふうに延ばしてきた期限というのがあります。判断を先送りしてきたということがあります、10年たった今回もし見送るのであれば、国のエネルギー政策に対して不信感を持たざるを得ないと強く思っています。

【記者】 仮の質問になって非常に恐縮なんですけど、明記されないとなった場合、先日発足しました共創会議があるんですけども、その辺の議論に影響はあるとお考えでしょうか。

【市長】 共創会議、知事が発案してつくっていただいていますので、私、参加させていただく立場ですけども、共創会議にも影響があるというふうに思います。

【記者】 関連してですが、昨晚もコメントを出していただいて、報道を受けてということでしたが、建て替え、新增設を盛り込まないと。現時点で市としては、国の方針、どれくらいそういう方針だったりとかというのは把握されていらっしゃるのか。そして、これまではどういうふうな形で働きかけをしていたのか、お聞かせください。

【市長】 私どもの感覚的なものになりますけど、感覚としましては、エネルギー基本計画の策定の中の議論とすると、今までと違って、前向きな議論が多いんじゃないかなというふうに感じていました。原子力発電の再稼働、また新增設、リプレースについて賛同する議員さんたちも少し増えたようなイメージを持っていますので、そういうことはないというふうに感じていたんですけども。

一方で、前のもんじゅの廃炉のときの状況とよく似ているなと思いますのは、新聞記事が先行してお話が出ているということがありますので、それについては非常に不快感があります。ですから、私どもに何らかそういう話があったのかということ、ありませんので。その中でこういうのが出てくるというのはどういうことだろうなというのはあります。

【記者】 そうしますと、市としては報道が先行する形になっているので、それを国のほうに確認しているというところになるのでしょうか。

【市長】 はい。全原協としての要請の時期でもありますので、要請活動もしていかなくてもいけないというふうに思っていました。できるだけ早い日程を詰めて、一度その真意を確認しに行つてこようというふうに思っています。

【記者】 ごめんなさい、仮定の質問にまたさらに申し訳ないんですけど、先ほどおっしゃっていた共創会議のほうにも影響が出てくるだろうというのは、具体的にはどういう影響が出てくるかというのは、今言える段階でしたら教えていただきたいんですけども。

【市長】 それはもう仮定の話なので、影響が出ないことはない、影響は出てくるとい  
う理解をお願いします。

【記者】 分かりました。ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 それでは各社にお伺いいたします。ご質問がございましたら挙手  
のほうお願いいたします。

【記者】 さらに確認なんですけれども。エネ基の件で、今回の件を受けての具体的なア  
クションを起こすというのは、全原協の確認というか、そういったものになるというこ  
とでしょうか。

【市長】 取りあえず、全原協の意思統一をするのはちょっと時間がかかりますので、私  
の個人的な判断として行かせていただくと。そのときに全原協の要望書も一緒に持って  
いく予定ですけど、そこはまだ確定的な部分ではありません。

【記者】 じゃ会長の立場で、その真意を確認しに行くみたいな感じですか。それとも敦  
賀市長として。

【市長】 会長としても、敦賀市長としても、確認しに行きたいと思います。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 今に関連してなんですけれども。全原協の会長という立場ではなくて、立地  
地域というところでの敦賀市の首長としてお聞きしたいんですけれども、敦賀原発がまだ  
先が見通せていない中で、今回のエネ基に方向性というか、原子力政策の方向性がはつき  
り示されないということになると、立地地域の敦賀市として、将来像を考えたときに危惧  
というか不安というか、そういうところを市長として考えていらっしゃるのでしょうか。

【市長】 敦賀市に限ってお話をすれば、敦賀市は3・4号機の新増設というのを抱えて  
います。それが前に進むかどうかという議論になってくると思いますが、じゃ立地の地域  
として10年間じっとしていたかという、敦賀市はそうではなくて、いろんな試みをして  
います。ですから、先ほど言いましたように、VPPのこととか、水素のこととか、また  
ハーモニアスポーツ構想の中でいろんな産業の種をつくっていかうとか、そういうことも  
していますので、ほかの立地と比べるといろんな動きをしている自治体だと思っています。  
ですが、それはそれでやっていますけれども、それでいいわけではなくて、やっぱりしっ  
かりと原子力政策を示していただきたいと思ひますし、3・4号機の新増設の道筋が見え  
てこない、というのはあります。

【記者】 考え方とすると、再生可能エネルギーなどの敦賀市としての独自の原子力以外  
でのエネルギーの取り組みということをやつつも、やはり原子力というものも両輪で将  
来に向けて進めていきたいという思ひはあるということでしょうか。

【市長】 そうですね。世間一般ですと、原子力か再生エネルギーかみたいな議論になっ  
ている部分もありますけれども、私どもの考えの中では、原子力も大事だし、再生エネ  
ルギーも大事だと。どちらもやって融合していったほうがうまくいくだらうというふうな考  
え方の中でやっていますので、どちらも前に進めていきたいというふうに考えています。

【記者】 ということで考えれば、原子力のほうの政策が見えないということは、すぐ  
敦賀市としては痛いというか将来が見えないということにつながりますでしょうか。

【市長】 そうですね。敦賀市も原子力政策がしっかりしていないと、それに対して進め

ていけばいいのかどうかということもあります。逆に今度、再生エネルギーにつきましても同じようなことが言えるんですよ。ですからこのまま突っ走って行って、10年後に違うよと言われてたら大変なことになりますし、長期的な力強いエネルギー政策を国が出すということは非常に大事なことだと思いますし、原子力についてしっかりと方針を出してほしいというふうに思っています。

【記者】 関連してなんですけれども、先ほどのエネ基の要望の件なんですけれども、近く経産大臣に要望に行くということなんですか。

【市長】 日程的なものは昨日の今日なので分かりませんが、そういうことを求めて動いていきたいと思います。

【記者】 その際の要望としては、立地のトップとして、増設を求めるような内容なのか、それとも、あくまでもエネルギー政策の道筋をはっきり明記してほしいというような要望になるのか、どういう要望なんですか。

【市長】 全原協で求めているのは、しっかりと道筋を示してほしいということですので、そういう求め方になろうかと思いますが、いろんなものを求めていきたいと思います。

【記者】 今日、ゼロカーボンシティ宣言を出した、その日にエネルギー基本計画の話が出てきて、非常にゼロカーボン宣言に水を差されたような印象を受けるんですけれども、改めてどう思われますか。

【市長】 すごくいいタイミングだとは思っていません。今日、ゼロカーボンシティの宣言をしようとは前日から準備していますので、楽しみにしてきているんですけれども、その前日にエネ基の話が出てくるというのは、タイミング的にはよろしくないなと思っています。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 全然別の話なんですけど。コロナのワクチンについて、自治体分のファイザーのワクチンの供給もちょっと停滞しているところがあるというふうに全国的な話ですけど聞いていますが、敦賀市に関連すると供給状態というのはどうかということと、今後のスケジュールに影響が出てきそうかという見立てはいかがでしょうか。

【記者】 詳しくは部長が答えると思いますが、前回のお願いした数に対して半分ほどしか来なかったということを聞いていますので、これが続くようであればショートするというふうに考えています。

【福祉保健部長】 今、市長が申しましたとおり、第9クールにつきましては、依頼をした分の半分しか来ておりませんので、この量でいきますと、7月中のワクチンの量というような形になり、7月末までで使い切る想定かなというふうに思っております。10クールにつきましては、本来ですと要望した数について県のほうから数が出てくる予定にはなっておりますが、それも遅れておりますので、そこにつきましても要望した量が来なければなかなか厳しい状況かなというふうに思っております。

【市長】 ちょっと分かりにくかったです。第9クールというのは7月6日に入荷予定の分だそうです。それが半分ほどしか来ないというものなんですけど、それを7月末で使い切るだろうと。10クールというのは8月1日に入荷予定だなんですけれども、8月1日に来なければ、もしくは遅れたり予定より減ってくれば8月分がショートしたりするという可能性が出てくる。ですから、もう少し具体的に近くなってくれば調整をする必要があ

るかもしれません。

【記者】 第9クールというのは、全部で何回分で、いつまで本来だったら使い切るまでの量ということになるのでしょうか。

【福祉保健部長】 本来ですと、第9クールは8月中頃までのワクチン量というふうに想定をしておりましたので、その部分について少し安心してできるような数をお願いしていた部分もあります。何とか量が少なくてもいけるような形で来てほしいなというふうな希望を持っているところがございます。県に聞かしても、なかなかその量の確定というのが分からないということですので、またなるべく国のほうには早くワクチン量の決定というのをしていただければなというふうに思っております。

【記者】 最後の質問ですけれども、今後、ショートするとか、接種計画を変更しなきゃいけないとなると、いつ頃までにそれは判断をするということになるんですか。

【福祉保健部長】 ワクチンが全く来ないわけではございませんので、今のところは7月末までは確保はされております。それ以降8月1日に入荷予定の分がどれぐらい来るかということと、また少し減っても今後また増加していくのではないかというような県の情報もあることから、見極めながらというような形にはなっていこうかと思っております。

【秘書広報課長補佐】 ほかによろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして7月の市長定例記者会見を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

午後 2時 03分 終了